

## 中国・国家行政学院研修生ホーム・ステイ受け入れ報告

### ホーム・ステイ研修生：

李海軍（男性、1980 年生、天津大学卒、水利水電技術専攻）：外交官希望

孫大為（男性、1981 年生、ハルビン工業大学卒、環境技術専攻）：行政官僚を希望

＜アテンド同行（10 日午後、11 日午後）＞ ホストファミリー：佐藤祥子さん

呉曉丹（女性、1981 年生、中国青年政治学院卒、経済学専攻）：経済官僚希望。

### 通訳ボランティア留学生（10 日午後）

桂紅花（女性、1980 年以前生、吉林省出身、大阪府立女子大学留学 2 回生、金岡町在住）

：卒業後は、日本企業の中国オフィス就職希望

### スケジュール：

10 日（土）：

＝ 堺の歴史と文化（体験、学習、見学） ＝

13 時 30 分 堺市役所本館 3 階大会議室（対面紹介）

14 時 30 分 堺観光ボランティア協会大仙案内所

15 時 00 分 伸庵 お茶席（座敷席）

15 時 30 分 堺市博物館（池峰学芸員）

16 時 20 分 仁徳陵古墳（堺観光ボランティア協会 丸山氏）

17 時 20 分 中谷氏私邸（中谷 1 級建築士設計による戸建実験住宅）見学

18 時 00 分 前田宅ホーム・ステイ

桂紅花さん（“堺なんや衆”会員の紹介）が、10 日午後、対面後のツアーから通訳を兼ねて、ボランティアとしてコミュニケーションの雰囲気づくりなど手伝ってくれた。

桂紅花さんは、その後、夕食も共にして、酒（ビール、日本酒、焼酎）を楽しみながら夜の 10 時 30 分まで、踏み込んだ話題も含め研修生との懇談を通訳し、とりなしてくれた。

佐藤祥子さん（ホストファミリー）の要請で、対面紹介後の堺市博物館周辺へのツアーには呉曉丹も同行した。

### <おもてなしの夕食メニュー>

#### 食事：

枝豆、いかなごの佃煮、田楽風焼きなすび、たれつけ厚揚げ豆腐、ししとうの醤油いため、生野菜のもろみ付け（“もろきゅう”など）、肉じゃが、たまねぎスライスポン酢和え、豚肉のしょうが焼き、散らし寿司（長男嫁差し入れ）

#### 飲み物：

ビール、日本酒（大吟醸「一片花流」丹波西山酒造）、焼酎（「佐藤」）、冷水出しお茶

#### デザート：、

夕張メロン（長女差し入れ）

11日(日):

= 現代の堺の文化 (選挙・環境・日常生活見学、名前の由來說明、堺市展望) =

9時00分 堺市立大泉小学校 (参議院選挙投票場見学)

選挙管理委員会の指示で入場は許可されず、入り口から内部の視察。

⇒ 大泉緑地サイクリング ⇒

10時00分 堺市クリーン・センター東第2工場見学

11時00分 のびやか健康館 (燃焼熱再利用施設: 黒川紀章事務所設計)

⇒ 大泉緑地サイクリング ⇒

12時00分 「しんかな CITY」 [昼食 (ラーメン)、ウインドウ・ショッピング]  
スーパー「サティ」 (ショッピング)

13時50分 方違神社 (見学: 「堺」の名前の由来の説明)

14時10分 堺市役所高層21階 (展望、喫茶、総括懇談)

15時00分 堺市役所本館1階ロビー集合 (ホームステイ行事終了)

午後、佐藤祥子さん (ホストファミリー) が、先約のためご都合がつかず、10日午後、堺市博物館周辺を共にツアーした呉暁丹さんが合流し、15時の集合地 (堺市役所本館1階ロビー) まで同行した。

前日の桂紅花さんのとりなしで、気心も知り合うことが出来ていたので、お互いに外国語 (英語) ではあったが、華やかな楽しいツアーとなり喜んでいただけた。

## 研修生との交流録:

### 1. 「一人っ子」政策対象の世代

1981年以降は、「一人っ子政策」がしかれたので、今回は「一人っ子」と「複数兄弟の末っ子」が混在した構成の研修生団体となっているのが特徴。

- ・李海軍: 1980年10月15日生れ、23歳、兄が1人いる。利発的、気配り、感受性豊か。
- ・孫大為: 1981年5月4日生れ、23歳、1人っ子。積極的、好奇心旺盛、ドライ・ボーイ。
- ・呉暁丹: 1981年生れ、1人っ子。聡明、しなやか、冷静。

(参考=桂紅花: 1980年以前、兄、姉が1人ずつ、末っ子。利発的、気配り、感受性豊か。)

### 2. 将来の行政官僚

- ・1大学から6人程度の推薦を受けて登用試験を受け、全国で30人が選抜され、2年間、中国・国家の行政学院で研修。
- ・研修後は、国家の指示で行政職として赴任 (中央、地方を含め) する。
- ・大学における専攻には、必ずしも拘らず、広く行政職としての登用制度に応募した研修生。  
例、李海軍: 専攻は技術だが外交官志望。 孫大為: 専攻は技術だが行政官僚志望。
- ・参議院選挙投票所見学 (選挙管理委員会の許可が得られず、入り口からの覗き見) の印象として、若い世代の姿が見えないことを不思議に思っ、「どうしてか?」と質問を受けた。
- ・英語、英会話が堪能。

### 3. 歴史認識

- ・小泉首相に対する意見を問われた。歴史認識という点で懸念していた。
- ・我が家の各部屋を案内した際に、書棚の本に関心を示し、『徐福』、『三国志』など中国の歴史に関する書物を声を上げて見ている。
- ・堺市と中国・連雲港市が友好都市提携していることの説明に耳を傾けた。昨年、「友好提携

記念行事」として、市民の立場での交流を目指したテーマ「徐福“伝説”を取り上げ、“中国文化セミナー“徐福”」を堺市に企画、提案し、開催されたことを報告書（日本語版\*<sup>1</sup>）を見せながら説明すると「面白い企画だ」と言って評価してくれた。

\* 1：『堺市・連雲港市 友好 20 年のあゆみ』（堺市、堺日中友好協会）

『中国文化セミナー“徐福”』（市民活動団体“堺なんや衆”）

上記報告書を資料として持ち帰った。

- ・中国の文化というと、多くの日本人が少林寺拳法とか京劇のことを挙げるのを残念がっていた。彼らとしては、中国を歴史的な視点から見つめてもらうことを期待した。
- ・シャワータイムの時間調整中に、私が過去 4 回（1984 年、1985 年、1996 年、2000 年）、中国に出張した時のアルバムを見せると、特に、1984 年 1985 年の北京の街並みなど写真を食い入るように相互に話しながら見て、改革開放当初の技術交流の様子を聞いたがった。アルバムを見て、「前田さんが一番輝いていた時だ」と冷やかされた。

#### 4. “IT” 世代

- ・東京・秋葉原で、デジカメ、ビデオを買い込んで楽しんでいた。  
従って、当初、11 日（日）午後に予定した八千代ムセン（IT 機器関連量販店）のウインドウ・ショッピングは取りやめた。
- ・自宅には、パソコンを持ち、メール交信を楽しんでいる。写真を、メール添付で送信して欲しいとせがまれ、ホーム・ステイのお礼とともに着信のお礼が届いた。

#### 5. 日本の文化について

- ・彼らの口癖として、中国では、子供の頃から日本の文化に触れており、理解しているが、日本人は、中国の文化を知らないし、理解が不足していると言っていた。

例、

- ① 日本のアニメ（ピカチュウ、キティちゃん、ドラえもんなど）を見て育っている。「一休さん」など日本の童謡が鼻歌で出てきて、童話も知っている。一休さんが住んでいたお寺はどこかと所在を尋ねた。一休寺（京都）にあるほうきを持った一休さんの銅像のデジタル写真を見せると声を上げて喜んだ。
- ② 大泉緑地をサイクリングした時（堺クリーンセンターへの往復時）には、「北国の春」（千昌夫）を大声で歌いながら楽しんでいた。歌謡曲も知っている様子

- ・日本の料理の味付けを受け入れる。

例、

- ① 夕食の献立は全て美味しいと言って食べてくれた。
  - ② 特に、日本のラーメンは、中国のラーメンよりうまいと言って、11 日（日）の昼食にはラーメン屋への案内を希望された。
  - ③ スーパー「サティ」の食品売り場で、「生わさび」のチューブを 5 本も買い込んだ。
- ・仏壇に強い関心を持ち、その説明は興味深く聞いて納得顔をした。神棚は、疑問が残り（色々な神がいることを不思議に思い）、その意義を理解しかねた（説明できなかった）。

#### 5. 化粧品、ファッションへの関心

- ・ウインドウ・ショッピングの際、特に、資生堂化粧品に関心が高く買い込んだ。

#### 6. 気配り

- ・古い我が家を、「この家には歴史があって素晴らしい」と、ホストの好意を立ててくれた。
- ・酒は飲めなくても（孫大為君）、酒席の雰囲気を理解して付き合ってくれた。

- ・ホーム・ステイを心底楽しみ、特に、家内のもてなし（日常的な料理、洗濯、アイロン掛け、・・・）を喜んで、それぞれにツウ・ショットで写真を撮っていた。

## ホームステイ受け入れ経験から受けた感想：

### 1. とともに、ホームステイを楽しむ事が出来た。

当初、知人から「一人っ子政策」育ちの新人類ではないかと脅かされ、少々心配していたが、現実には、むしろ、日本のことを良く知っていて、また、理解しようとする姿勢を持ち合わせ、さらに誠実な態度に違和感を感じる事が少なく、むしろ、同世代の青年層と比較して、日本の将来に危機感さえ感じさせられる思いがあった。

### 2. 中国留学生の通訳ボランティア参加で交流の成果を挙げる事が出来た。

ホーム・ステイの受け入れが初めての経験であること、時間的に短時間であること、中国・国家が派遣した将来の中国を背負う立場にある青年達であること、「堺」を世界（中国）に知ってもらいたいという強い“思い”に駆られたことなどから、市民活動団体“堺なんや衆”の会員に相談して、大阪府立女子大学留学生（桂紅花さん、2 回生、中国・吉林省）を紹介していただき、初日（10 日）、堺市博物館、お茶席（伸庵）、仁徳陵など、堺の象徴的な文化の紹介・通訳お願いし、理解を深めてもらうことに注力した。

その中で、堺の文化が、古代を含め中世など、既に中国文化とも縁が深く、しかも、日本の文化の中核と理解していた京都文化とも縁があることを知り驚いていた。

さらに、昨年、堺市・連雲港市友好提携 20 周年を記念した「中国文化セミナー“徐福”」の開催に関しては、桂紅花さんの通訳に負うところ大なるものがあり、その“思い”を十分に話し合うことが出来、理解を深め評価してくれた。

### 3. 過去に中国に出張した時の写真は、相互の親しみを増すのに役立った。

その当時（自分達が幼少の頃）の光景を確認すると同時に、中国の発展に対して貢献した人と言う点から、言葉を交わすよりも親近感を深めたように思われた。

## 提言：

「中国・国家行政学院研修生のホームステイ受け入れを戦略的に位置づけ、そのノウハウを蓄積して、将来の「堺」の対中国政策（人脈形成、集客、投資など）に活かすべきである」

1. プレゼンテーション資料の整備、活用。公的施設（堺市博物館など）への入館料無料化。
2. 通訳として、堺市内大学在学留学生及び帰国子女の活用（ボランティアまたは有料採用）
3. ホストファミリー交換会開催、ホームステイガイド作成、事例紹介（「広報さかい」等）

## 提供資料：

＝ 堺市（国際担当）に事前提供をお願いした資料 ＝

「さかい 興味津々」、「堺市の伝統産業」、「ポケットさかい」（以上中国語版）、  
「CITY LIFE NEWS」（June July 2004）」

＝ 前田秀一提供 ＝

「堺市北支所管内地図」、「世界 3 大陵墓比較資料」（仁徳陵、秦の始皇帝、ピラミッド：堺市ホームページ「デジタル古墳百科」）、「堺市クリーンセンター東第 2 工場概要」（中国語版）、「中国文化セミナー“徐福”報告書」、「大日本インキ化学工業（株）・社内誌」、「資源循環型社会システム資料」（英語抄録付）、「省電力システム資料（AD コントローラー、ESCO）」

以上